

2007年度 環境活動レポート

(2007. 4~2008. 3)



大幸薬品株式会社

大幸薬品株式会社

環境方針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、当社の経営理念に基づいて、環境への取り組みを重要課題と認識し、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の医薬品製造販売の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

< 環境保全への行動指針 >

- 1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2．環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
- 3．具体的な取組みとして次のことを推進します。

脱地球温暖化社会のための省エネルギー

循環型社会のための省資源、廃棄物の削減

事務用品等のグリーン購入の推進

- 4．当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します。

制定日 2005 年 11 月 1 日

改定日 2007 年 4 月 1 日

代表取締役社長 **柴田 仁**

事業所の概要

1. 事業者名及び代表者名

大幸薬品株式会社
代表取締役社長 柴田 仁

2. 関連事業所

本社：〒564-0032 大阪府吹田市内本町3丁目34番14号
TEL:06-6382-1021

関東営業所：〒142-0054 東京都品川区西中延1丁目7番3号
TEL:03-5749-1021

北部営業所：〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町2番3号 TR 仙台ビル5階
TEL:022-727-0782

中部営業所：〒465-0026 愛知県名古屋市名東区藤森1丁目2番
TEL:052-760-1571

福岡駐在所：〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 JPR 博多ビル8階
TEL:092-411-1947

第2工場：〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7番71号
TEL:06-4860-5870

大幸TEC(株)本社：〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7番71号
TEL:06-4860-5870

鳴尾浜倉庫：〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番20号

3. 環境保全関係の責任者および事務局連絡先

環境管理責任者：生産本部 松島 伸行 TEL：06-6382-1023 FAX：06-6382-3084

環境事務局長：管理本部 田中 祥介 TEL：06-6382-1026 FAX：06-6382-1035

4. 事業内容

一般用医薬品、医薬部外品の製造販売

二酸化塩素除菌消臭剤の開発販売

木酢関連商品の企画販売

5. 事業規模

製品出荷額 52.96 億円（2007 年度実績）

従業員数 190 人（2008.3.31 契約社員・派遣社員等含）

工場延べ床面積 12,950 m²

主な環境負荷の実績

項目		年度			
		2004年	2005年	2006年	
CO ₂ 排出量	電力	総量 (kg-CO ₂)	499,080	447,552	457,496
		製品出荷額当たり (kg-CO ₂ /億円)	9365.4	8071.3	8,243.2
	自動車燃料	総量 (kg-CO ₂)	129,234	142,230	121,253
		製品出荷額当たり (kg-CO ₂ /億円)	2,425.1	2,565.0	2,187.7
		1台当たり (kg-CO ₂ /台)	3,062.4	2,838.9	3,730.9
		製品出荷額当たり (kg-CO ₂ /台/億円)	57.5	51.2	67.2
エネルギー総量	総量 (kg-CO ₂)	818,741	749,264	745,994	
廃棄物量	一般廃棄物	総量 (ト/年)	79.4	79.4	35.4
		製品出荷額当たり (ト/億円)	1.49	1.43	0.64
	産業廃棄物	総量 (ト/年)	19.0	19.0	16.3
		製品出荷額当たり (ト/億円)	0.36	0.34	0.29
	総量	総量 (ト/年)	98.4	98.40	51.7
		製品出荷額当たり (ト/億円)	1.85	1.77	0.93
水資源投入量	総量 (m ³ /年)	9,090	9,502	8,598	
	製品出荷額当たり (m ³ /億円)	171.7	186.2	155.1	

環境目標とその実績

項目		年度			
		2006年 (実績)	2007年 (目標)	2007年 (実績)	
CO ₂ 排出量	電力	総量 (kg-CO ₂)	457,496	443,772	523,659
		製品出荷額当たり (Kg-CO ₂ /億円)	8,243.2		9,887.8
	自動車燃料	総量 (kg-CO ₂)	121,253	118,827	126,092
		製品出荷額当たり (Kg-CO ₂ /億円)	2,187.7		2,380.9
		1台当たり (kg-CO ₂ /台)	3,730.9	3,656.2	3,792.2
		製品出荷額当たり (kg-CO ₂ /台/億円)	67.2		71.6
廃棄物量	一般廃棄物	総量 (ト/年)	35.4	34.4	53.5
		製品出荷額当たり (ト/億円)	0.64		1.01
	産業廃棄物	総量 (ト/年)	16.3	15.8	18.7
		製品出荷額当たり (ト/億円)	0.29		0.35
	総量	総量 (ト/年)	51.7	50.2	72.2
		製品出荷額当たり (ト/億円)	0.93		1.36
水資源投入量	総量 (m ³ /年)	11,204	10,643	8,412	
	製品出荷額当たり (m ³ /億円)	201.9		158.8	

上記の目標のほか、以下の取組みを推進します。

- ・ グリーン購入の推進

環境活動の中期計画について

2010 年度までの取組み計画は下記のとおりです。

環境目標項目	中期目標計画 (2005 年度～2010 年度)	
電力の削減	10% 106.6 万 kwh 402,948 kg-CO ₂ (2005 年度対比)	太陽光発電の活用等を検討し、電力を自ら作り出す方向を模索する
ガソリンの削減	10% 91.7L/台/月 212.9 kg-CO ₂ (2005 年度対比)	社用車を順次ハイブリッド等の低燃費車へ変更し、ガソリン使用量の削減を目指す
廃棄物量の削減	15% 83.6 トン (2004 年度対比)	社内イントラネットを整備し、ペーパーによる報告書等の削減を目指す
節水	20% 8,161.6 m ³ (2004 年度対比)	雨水、風呂水、貯水タンク清掃時の廃棄水等が保管できるタンクの設置が可能なか検討し、排水の効率利用を目指す
グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	備品の一括購入や不用品の他部署利用等により、リユース・リデュースを行うシステムを構築する

主要な環境行動計画の内容

数値目標を達成するために、以下の取組みを実施しています。

【電力の削減】

- ・ 節電運動の実施
- ・ 省エネルギータイプのパソコン導入
- ・ 省電力装置の導入（第2工場エアコン、本社棟エアコン）
- ・ 生産ラインのチョコ停の低減

【ガソリンの削減】

エコドライブ運動

- ・ アイドリングストップ
- ・ 急発進の抑制
- ・ 冷暖房の控えめ使用

燃費測定

【廃棄物の削減】

- ・ 3R 運動の実施
- ・ 分別回収の徹底
- ・ 廃棄方法の見直し
- ・ マイカップ運動
- ・ 製造現場の不良率の低減

【節水】

- ・ 節水運動の実施

環境活動の取組み計画と評価

今年度の取組み計画と評価は下記のとおりです。今年度の結果を踏まえ、中期計画を再訂する予定です。

取組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>電力の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電運動 ・ パソコンの入れ替え ・ 省電力装置の導入 ・ 生産ラインのチョコ停の低減 	<p>目標：443,772 kg-CO₂ 実績：523,659 kg-CO₂ 達成度：未達</p> <p>実績 本 社：439,726 kg-CO₂ 北部営業所：5,408 kg-CO₂ 関東営業所：18,225 kg-CO₂ 中部営業所：5,628 kg-CO₂ 九州営業所：1,942 kg-CO₂ 第2工場：52,730 kg-CO₂</p>	<p>全社の取組みである節電運動は勿論のこと、本社では、省電力パソコン入れ替えと本社棟に新型エアコンを導入し、第2工場では、新たにエアコンの設置を行った。</p> <p>製造ラインにおいては、QC活動の一環で生産ラインのチョコ停の低減に取り組み、時間あたりの生産力が向上することで、電力消費量を抑えることができた。</p> <p>達成状況としては、医薬品の製造量が前年度より増え、また第2工場での二酸化塩素関連商品の製造が本格稼働となり、電力需要が増え未達となった。で</p> <p>本社と第2工場で全体の94%を占めるため、今後の稼働に伴い、ますますの電力需要増が懸念される。</p> <p>2008年度においては、電気の適正使用を推進するとともに、更なる省電力装置の導入の必要がある。</p>
<p>ガソリンの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ運動 ・ 急発進の抑制 ・ 冷暖房の控えめ使用 	<p>目標：131.2L/台/月 (304.7kg-CO₂) 実績：136.1L/台/月 (316.0kg-CO₂) 達成度：未達</p> <p>実績 本 社：133.3 L/台/月 (309.5 kg-CO₂) 北部営業所：216.0 L/台/月 (501.4 kg-CO₂) 関東営業所：120.3 L/台/月 (279.3 kg-CO₂) 中部営業所：138.0 L/台/月 (320.4 kg-CO₂) 九州営業所：218.3 L/台/月 (506.8 kg-CO₂) 第2工場：22.9 L/台/月 (53.1 kg-CO₂)</p>	<p>エコドライブについては、ドライバーの認識が高まり、アイドリングストップ、急発進・急停車、冷暖房の控えめ使用などの効果はあがっている。</p> <p>しかし、事業品目の増加に伴う営業活動が活発となったため、地方営業所の車使用頻度が高くなり、未達となった。</p> <p>2008年度は公共交通機関の利用を推進すると共に、今後導入する社用車についてはエコカーを検討したい。</p>

取組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>廃棄物削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3R 運動 ・ 分別回収の徹底 ・ 廃棄方法の見直し ・ マイカップ運動 ・ 製造現場の不良率の低減 	<p>目標： 50.2 トン 実績： 72.2 トン 達成度：未達</p> <p>焼却処理 前年度： 30.0 トン 実績： 32.3 トン</p> <p>循環資源量 前年度： 21.7 トン 実績： 39.9 トン</p> <p>実績 本社：焼却 29.3 トン 循環 32.9 トン 北部営業所：焼却 0.21 トン 循環 0.03 トン 関東営業所：焼却 1.8 トン 循環 0.10 トン 中部営業所：焼却 0.24 トン 循環 0.00 トン 九州営業所：焼却 0.29 トン 循環 0.07 トン 第 2 工場：焼却 0.43 トン 循環 6.78 トン</p>	<p>廃棄物削減は、3R 運動、分別回収については、従業員全体に浸透した。</p> <p>製造現場においては、QC 活動の不良率低下の取組みにより、資材ゴミの削減に取り組んでいる。</p> <p>正露丸商品が前年度より製造量が増えたこと、また第 2 工場が本格稼働となったことにより、廃棄物量は増加し未達となった。しかし、焼却処理にまわされた廃棄物は前年度より 7%増だったが、循環資源は 84%増となり、社員意識が定着したことが伺われる。</p> <p>循環資源は、本社と第 2 工場 で 99.5%を占めており、今後も再資源化に取り組む。</p> <p>2008 年度においては、各事業で、ゴミを作らない、持込まないなどの、今一步進んだ意識改善を図る。</p>
<p>節水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水運動 	<p>目標： 10,643 m³ 実績： 8,478 m³ 達成度：達成</p> <p>実績 本社：8,041.0 m³ 北部営業所： 54.1 m³ 関東営業所： 67.6 m³ 中部営業所： 39.0 m³ 第 2 工場： 276.0 m³</p>	<p>目標より約 20%の削減を達成した。前半は目標に比べ使用量が多かったが、後半はかなり節水意識が高まり、達成となった。今後も、節水意識の向上をますます高める必要がある。</p> <p>使用量の 95%は本社工場で使用しており、今後も率先して本社工場内での節水運動を実施する。</p>
<p>事務用品のグリーン購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン購入運動 ・ 事務用品のグリーン購入推進 	<p>目標：グリーン購入 実績：グリーン購入 達成度：達成</p>	<p>事務用品にグリーン用品があれば、支障がない限り、その商品を選択した。今後も、グリーン購入を前提とした事務用品の購入を行う。</p>

【総括】

3年目の取組みとして、初年度、2年度と同様に社員の意識向上をメインに実施した。

第2工場が本格稼働を始めたこと、事業品目が増えたこと、医薬品の製造量が増えたこと、などの理由により、取組み計画で達成できない項目が多く見受けられた。しかし、社員個々の節水や節電意識は高まっている。

社員には、より一層『エコ』を意識した生産活動が行えるよう、今後の取組みみへ尚一層の協力を求めたい。また、自社のみではなく、取引会社、近隣環境をも含め『エコ』について考えていきたい。

環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	汚泥、廃プラスチック、蛍光灯、殺菌灯、乾電池、廃酸、廃アルカリ、廃油、感染性廃棄物、実験動物
消防法（危険物）	クレオソート、濃グリセリンの管理
水質汚濁防止法	油類等
下水道法	廃ガス洗浄施設、除外設備（排水ばっき槽）の届出、管理責任者設置
騒音・振動規制法	集塵装置設置届、空気圧縮機設置届
PRTR法	フェノール、クレゾールの届出
容器リサイクル法	製品容器使用数量の届出
フロン回収・破壊法	業務用空調機・冷凍機・エアードライヤー

環境関連法規制等に関する順守状況の定期評価の結果、空気圧縮機設置に届出漏れがあり、現在届出手続き中です。その他の環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上

【グラフで見る目標と結果】

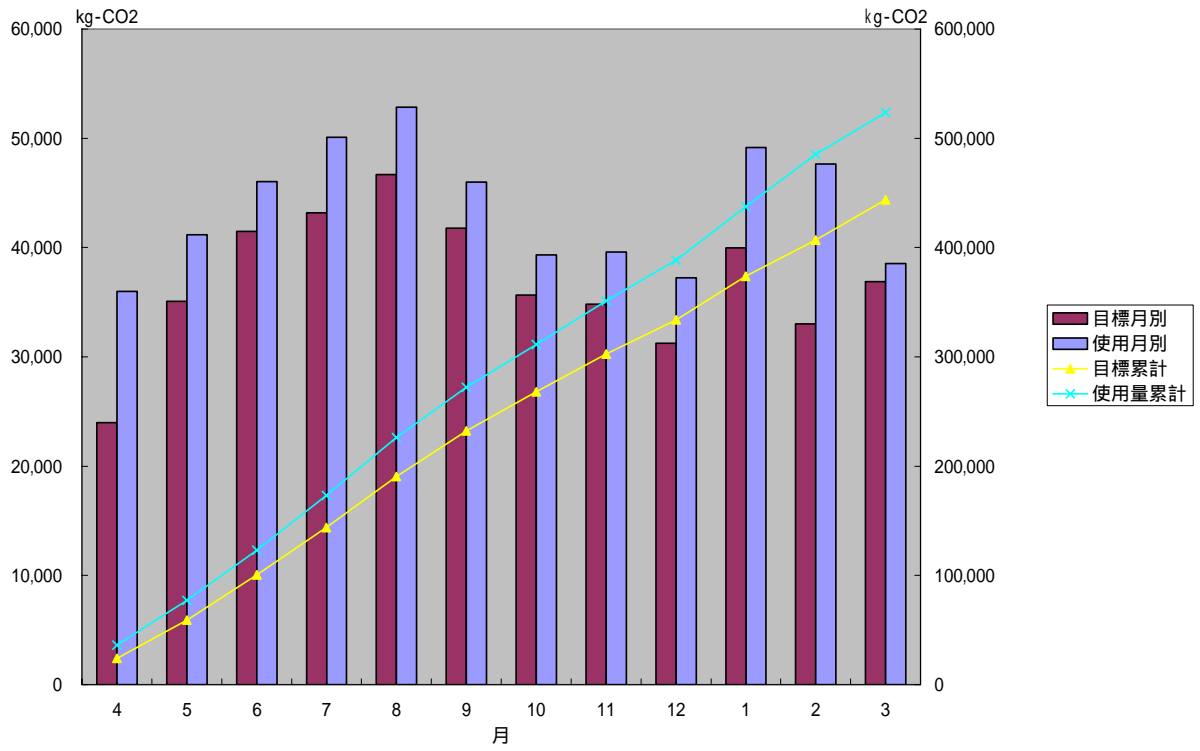


図1 目標電力量と使用電力量

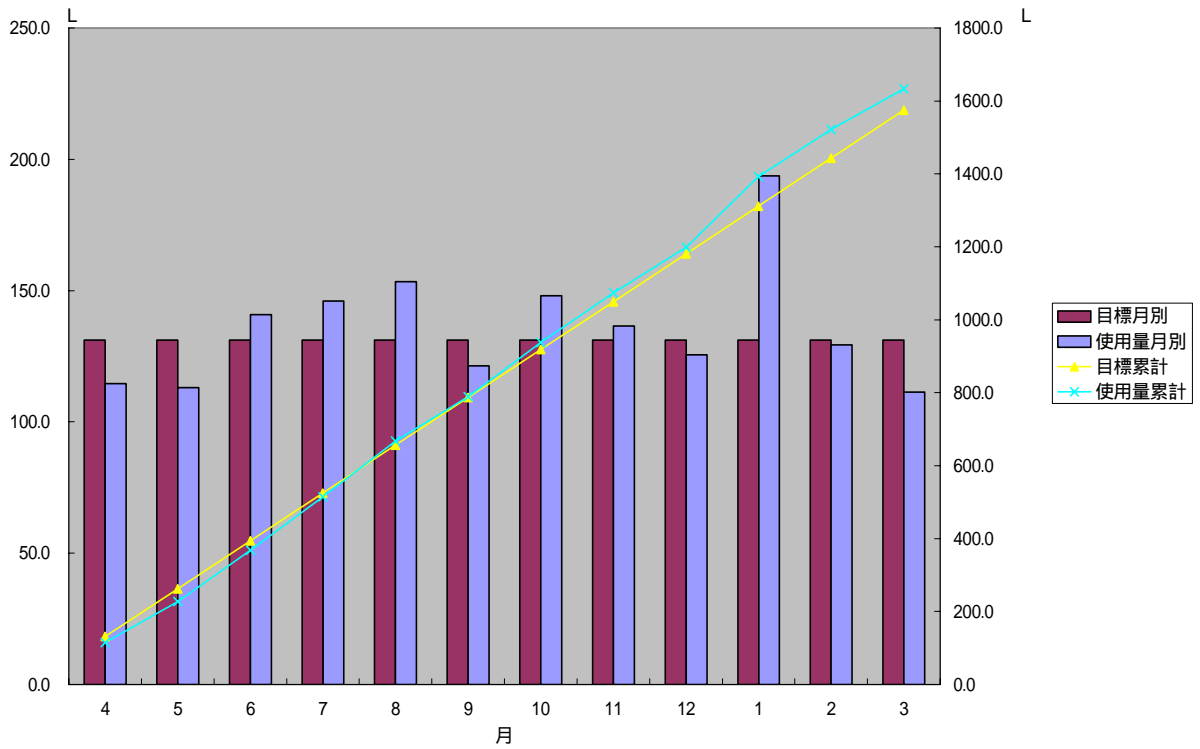


図2 目標ガソリン量と使用ガソリン量
(1台あたり)

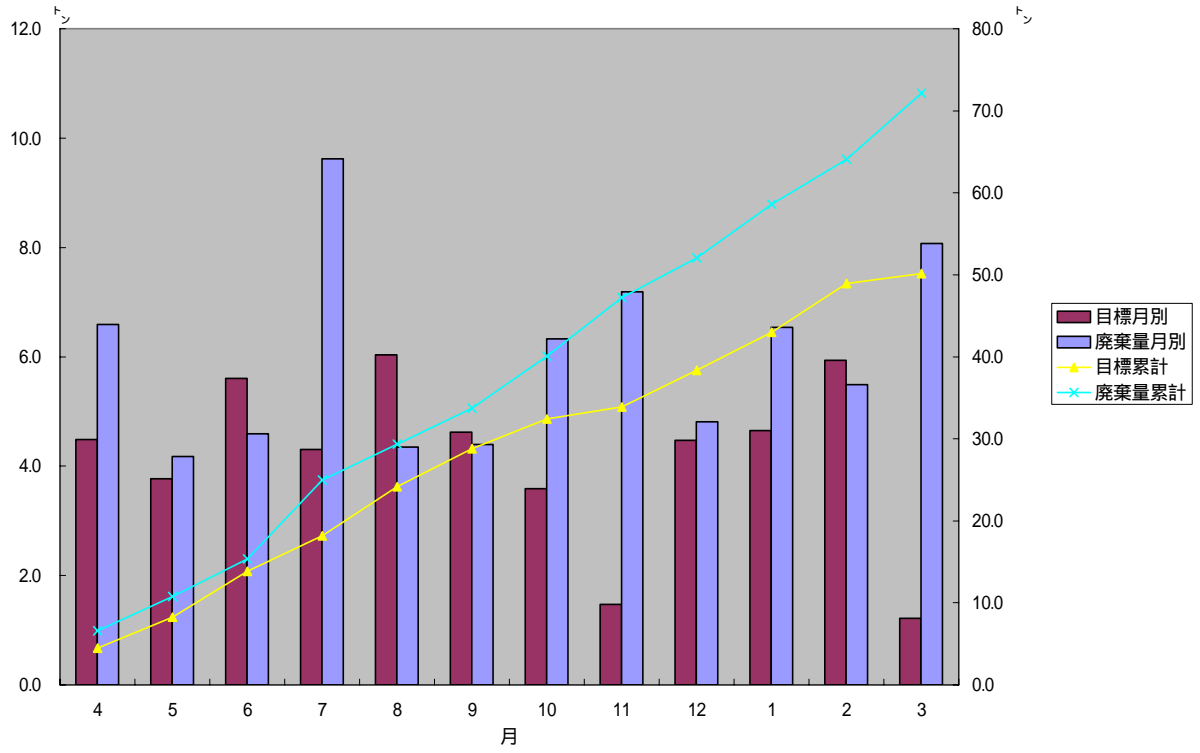


図3 目標廃棄物量と実際の廃棄物量

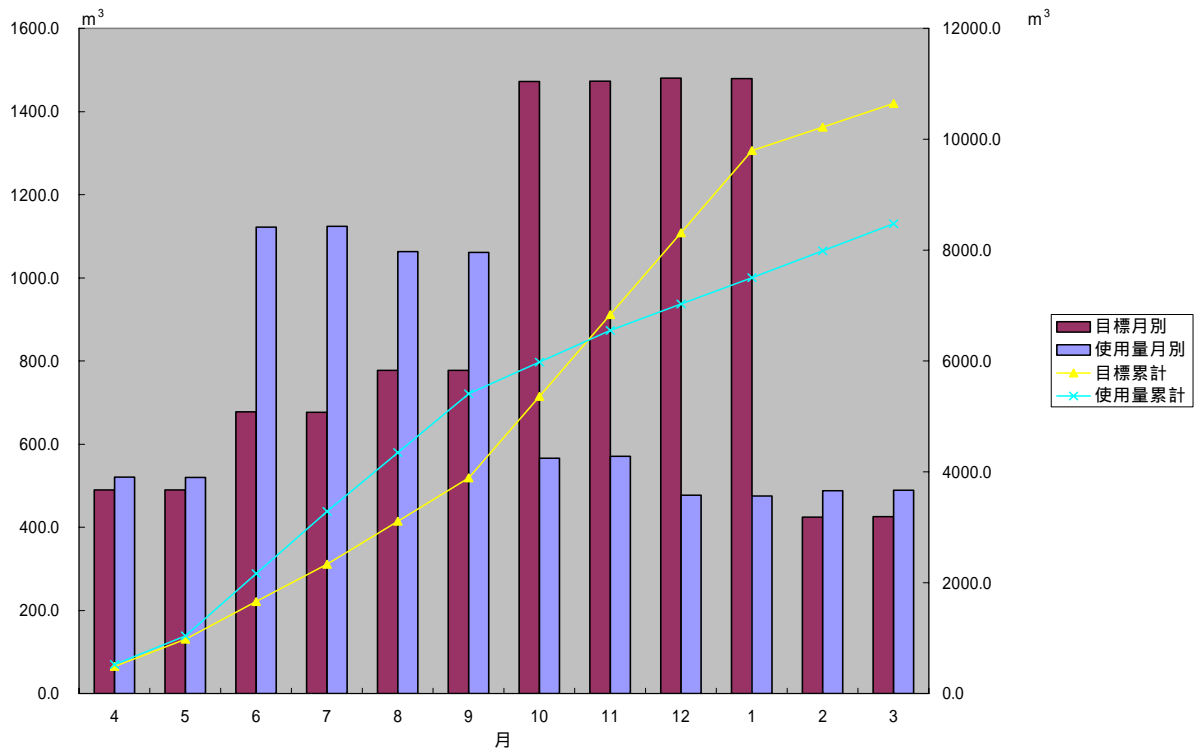


図4 目標水道量と使用水道量